

東京ドームシティ「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」
アメリカで話題の美術館のコレクションが日本初公開！

『バッドアート美術館展』開催

2018年11月22日(木)～2019年1月14日(月・祝)

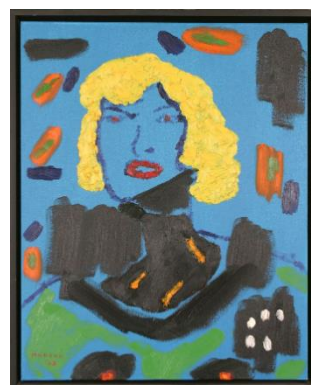
東京ドームシティ(文京区後楽1-3-61)の「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」では、2018年11月22日(木)～2019年1月14日(月・祝)の期間、『バッドアート美術館展』を開催します。

「バッドアート美術館」は、他では展示されず、真価を認められないことがないものの、称賛せざるにいられない作品を収集・保存・展示し、それを生み出した芸術家を讃えることを使命としたアメリカのボストンにある美術館です。収蔵されている「バッドアート」と呼ばれる作品たちは制作途中で何かを間違えてしまったのか、見る人が「あれ…？何かおかしい…」という印象を抱きつつも、どういうわけか心動かされる作品になっている、というものばかりです。本展ではバッドアート美術館に収蔵される800点を超える作品の中から100点を日本初公開します。また、スペシャルサポーターに現代美術のフィールドでも活躍する漫画家の“しりあがり寿さん”をお迎えし、しりあがり寿さんならではの視点で、バッドアートコレクションを独自のユーモアを交えて紹介いただきます。



【開催概要】

- 名称: バッドアート美術館展
- 日程: 2018年11月22日(木)～2019年1月14日(月・祝) [54日間]
※開催期間中無休
- 時間: 10:00～18:00 ※17:30最終入館
- 場所: Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)
- 料金: 当日 大人(高校生以上)1,300円
前売 大人(高校生以上)1,100円
当日・前売一律 小人(小・中学生)200円
※未就学児無料
- チケット販売: 2018年9月26日(水) 10:00～
ローソンチケット・チケットぴあ・セブンチケット・イープラスにて前売開始
※イベント初日11月22日(木)より当日料金
- 企画協力: Museum Of Bad Art
- スペシャルサポーター: しりあがり寿
- 広告デザイン: あきやまみみこ
- 企画コーディネーション: 神田圭美
- 制作協力: Synchronicity、キュリオシティジャパン
- 後援: 読売新聞社
- URL: <https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/event/MOBA2018.html>
- お客様からのお問い合わせ先:
東京ドームシティわくわくダイヤル TEL.03-5800-9999



Couldabeen Marilyn Today



しりあがり寿さん



Light at the End of the Tunnel



Drilling for Eggs



Charlie and Sheba

◆バッドアート美術館について

バッドアート美術館は1994年にボストンの画商スコット・ウィルソンがゴミの中から最初のバッドアートを拾ったことから始まりました。彼は絵を処分して額縁を売る予定でしたが、友人のジェリーがその絵画を気に入って家に飾ったので、それからというもの仲間内でリサイクルショップやフリーマーケット、はたまたゴミの中からバッドアートを見つけてはジェリーに渡し始めました。いつしかそのコレクションを映画館の地下スペースを利用して小さな美術として公開し、それがネット上で話題となり、国際的に注目されるようになりました。現在では多くの「バッドアートではないかと思われる作品」が美術館に寄せられるものの、バッドアートの基準が厳しいため、実際に收藏される作品は極一部です。

バッドアート美術館の選考基準は、第1に「芸術の名のもとに真剣に創作した本物のアートであること」、第2に「コンセプトあるいは完成の時点で何かが間違っていてしまっていること」、第3に「議論や疑問が起こるものの、結果として興味深く称賛せずにいられない作品であること。」です。



©2018 Museum Of Bad Art, Inc.

◆しりあがり寿さんについて

●プロフィール

1958年静岡市生まれ。1981年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後キリンビール株式会社に入社し、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当。1985年単行本『エレキな春』で漫画家としてデビュー。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。1994年独立後は、幻想的あるいは文学的な作品など次々に発表、新聞の風刺4コママンガから長編ストーリーマンガ、アンダーグラウンドマンガなど様々なジャンルで独自の活動を続ける一方、近年では映像、アートなどマンガ以外の多方面に創作の幅を広げている。



しりあがり寿さん

<しりあがり寿さんからのメッセージ>

芸術は深い。そのあまりの深さにヘタクソと傑作の違いが分からなくなることがあります。でもそんな困惑こそが芸術の楽しみかもしれません。「これってヘタクソじゃない?…」「いや、オレはなんかグツとくるけどな…」あなたも是非迷作の中に自分だけの傑作を見つけてください。

◆11月21日(水)にプレス内覧会を実施(予定)

展覧会開幕前日となる11月21日(水)に、バッドアート美術館館長のルイズ・レイリー・サッコさん、チーフ・キュレーターのマイケル・フランクさん、しりあがり寿さんを招いてプレス内覧会を実施します。

※会期・内容に関しましては、変更になる場合がございます。

「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」施設概要

感動を生み出すエンタテインメント性とアートの融合による、“楽しさ”と“ライブ感”を体験できる大人のための“遊べる”ギャラリー。最先端のアートから、工芸、サブカルチャーまで、様々なジャンルの催事を1~3ヶ月ごとに入れ替えながら継続的に展開していきます。

所在地: 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドームシティ クリスタルアベニュー沿い
床面積: 約830m²
天井高: 約5m
U R L: <https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/>

